

株式会社昭和自動車学校

取組内容

- ①ヘルメット着用促進チラシの配布
- ②高校での自転車交通安全講話

活動の成果



【①の活動内容及び成果】

「自転車の違反に青切符導入・自転車の基本的なルール」が記載されているチラシ（約1,000枚）を配布

参加者：昭和自動車学校職員、アイドルグループAimメンバー、春日井警察署警察官

- ・ヘルメット着用ルールへの「気づき」の提供

チラシの右下にある「自転車安全利用五則」のQRコードやイラストを指差しながら声をかけたことで、生徒たちが「ヘルメットが必要なんだ」と認識するきっかけを作れた。

- ・受け取り率の高さと関心の誘発

「令和8年4月から（2026年4月から）の青切符導入」というインパクトのある内容だったため、多くの方が関心を持ってチラシを受け取った。

- ・生徒や教職員とのコミュニケーション

「おはようございます」「ヘルメットかぶってね」という声かけに対し、生徒からの挨拶や、先生方からの感謝の言葉が得られ、学校全体での交通安全意識を高める関係構築ができた。

【②の活動内容及び成果】

- ・春日井市内の高校において高校生向け自転車安全教育インストラクターの資格を持つ職員が、パワーポイントを使用し、ヘルメット着用の重要性を認識させた。

講話後、実施校の教員への聞き取り調査およびアンケートにより、以下の具体的な成果が確認された。

- ・・・生徒の意識・行動の変化・・・

日常会話への浸透：生徒同士の間で、ヘルメット着用を意識した会話が自然と交わされるようになった。

思考の深化：単なるルールとしてではなく自分の身を守る手段としてヘルメット着用について真剣に考える生徒が増加した。

着用率の向上：一部の高校においては、講話前と比較してヘルメットの着用率が実際に向上したという報告を受けている。

- ・・・教育現場（教員）への影響・・・

指導の円滑化：講話の内容が、先生方が生徒へ自転車指導を行う際の「有効な入り口（きっかけ）」となった。

指導の具体性向上：教員全員が聴講した学校では、「内容が身近でイメージしやすかったため、生徒へ着用を促しやすくなった」とのアンケート結果が出ている。



Xに投稿されていた自転車事故後のヘルメット

投稿者は事故のことを振り返り

「多分、ヘルメットをしてなかったら頭がかなり割れていたんだろう」

とコメントしたそうです。

